

第2章 目標と重要目標達成指標（KGI）

1 目標

消費地である都市に近接して営まれている本市の農林水産業は、市民に四季折々の新鮮で安全・安心な農林水産物を提供し、市民の食生活を豊かにしています。農地や森林などは、洪水防止や水源涵養^{かんよう}などの多面的機能を発揮して市民の暮らしを守り、その景観は、都市部で生活する市民にうるおいや安らぎを与えています。

今後とも農林水産業を維持していくために、生産性の向上や所得の向上、安定化を図り、担い手を確保していくことが必要です。また、多くの市民が農林水産業に何らかの形で関わり、理解を深めてもらうことも都市近郊で農林水産業を維持していくために重要です。さらには、社会全体が持続可能であることを目指しており、SDGsの達成に農林水産業も貢献が求められます。

そこで、本計画の目標を「多様な担い手による持続可能な都市型農林水産業の実現」として、様々な施策を展開していきます。

多様な担い手による持続可能な都市型農林水産業の実現

2 10年後の目指す姿

「多様な担い手による持続可能な都市型農林水産業の実現」に向けて取り組み、10年後の本市の農林水産業の目指す姿を次のとおりとします。

○多様な担い手が育ち、効率的な経営が行われている

○農地、森林、漁場環境が保全され、多面的機能を発揮している

○市民の農林水産業への理解や評価が高まっている

3 重要目標達成指標（KGI）

重要目標達成指標（KGI）は、計画期間の最終年度（令和8年度）における農林水産業生産額とします。

農林水産業に従事する人の数は一貫して減少しています。本計画では、新規就業者等の担い手の育成・確保を最重点課題の一つに位置付け、各種施策に積極的に取り組むこととしていますが、農林漁業従事者数は引き続き減少するものと予測しています。

このため、農林漁業者個々の経営規模の拡大や生産性の向上、経営の安定化などにつながる施策を組み合わせ実施し、一経営体当たりの生産金額を向上させることで、現在の農林水産生産額から5%程度増の80億円を目指します。

農林水産業生産額 80億円

一経営体当たりの生産金額

【農業】

20%向上

【水産業】

5%向上

農林水産業生産額
および一経営体あたりの生産金額

